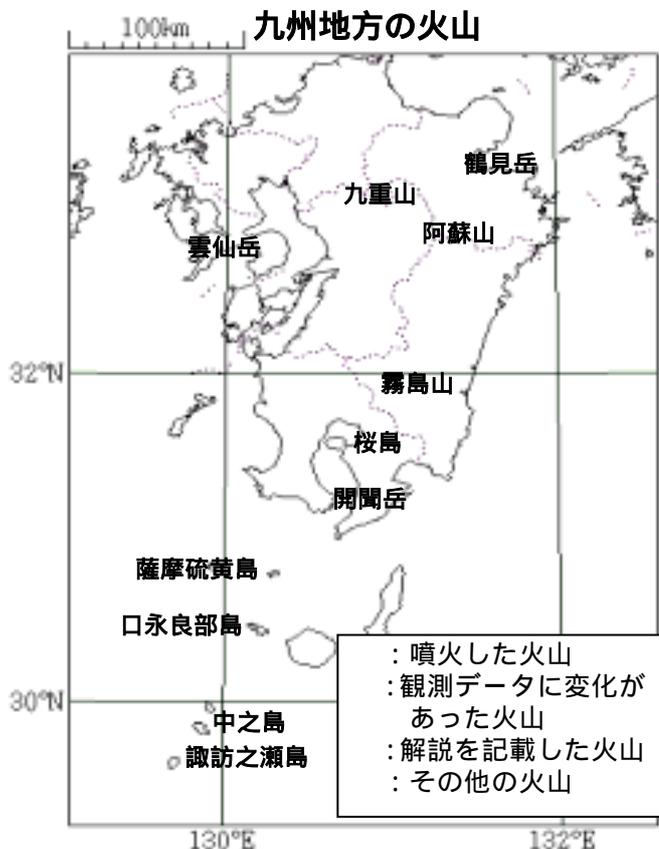


九州地方の火山活動解説資料（平成 14 年の活動）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター



火山活動解説資料（年報）は、年間の活火山の活動状況をとりとまとめたものです。

九州地方の火山については、福岡管区気象台地震火山課火山監視・情報センターが作成し、毎年 1 月上旬に公表します。

平成 14 年の月別火山活動状況

| 火山名 | 平成14年（2002年） | | | | | | | | | | | |
|-------|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 鶴見岳 | | | | | | | | | | | | |
| 九重山 | | | | | | | | | | | | |
| 阿蘇山 | | | | | | | | | | | | |
| 霧仙岳 | | | | | | | | | | | | |
| 霧島山 | | | | | | | | | | | | |
| 桜島 | | | | | | | | | | | | |
| 開聞岳 | | | | | | | | | | | | |
| 薩摩硫黄島 | | | | | | | | | | | | |
| 口永良部島 | | | | | | | | | | | | |
| 中之島 | | | | | | | | | | | | |
| 諏訪之瀬島 | | | | | | | | | | | | |

概況

九重山 : 火山活動は落ち着いた状態が続きました。

阿蘇山 : 火山活動は 4 月以降やや活発でした。

中岳第一火口の南側火口壁下の赤熱現象は年間を通じて観測されました。南側火口壁下の温度も 3 月頃までは 200 台でしたが、4 月以降 300 台となり、11 月以降は 400 台が観測されました。また、孤立型微動は 4 月に一時的に増加しその後少ない状態で経過していましたが、8 月以降時折増加し、12 月以降は多い状態が続いています。

噴煙活動に大きな変化はありませんでした。

霧仙岳 : 火山活動は落ち着いた状況が続きました。

4 月 19 日に普賢岳方向が僅かに上がるような傾斜変動を伴う火山性微動を観測し、一時的に普賢岳山体直下の地震が増えましたが、それ以外の期間は火山性地震の発生は少なく、噴煙は 10 ~ 300m でした。

霧島山 : 6 ~ 10 月にかけて御鉢付近を震源とする火山性微動が計 13 回発生し、微動発生後に火山性地震が多発した日がありました。

表面的な現象に大きな変化は認められず、静かな状態が続きました。

- 桜島 : 噴火・爆発は引き続き発生しました。
しかし、年間の噴火回数は76回で、その内爆発回数は59回とここ10年で2番目に少なく、活動は比較的静穏でした。
- 薩摩硫黄島 : 1～4月は地震活動は1日100回前後で推移していましたが、噴火活動は見られませんでした。5月中旬～6月中旬にかけて地震活動が活発化し、5月28日に観測開始以来最も多い967回を観測しました。連続的な火山性微動も観測し、集落での降灰も度々確認されました。6月中旬以降は地震回数が減少し、10月9～10日に弱い降灰が確認されました。
- 口永良部島 : 火山活動は落ち着いた状態が続きました。
- 諏訪之瀬島 : 火山活動は、爆発的噴火を繰り返し、爆発音や体感空振を伴うなど活発な状態で経過しました。
爆発的噴火は、2月を除いて毎月発生しました。特に、8月42回、12月82回と多発し、年間の回数は306回でした。8月20日には、奄美大島の名瀬市(諏訪之瀬島の南約140km)で弱い降灰を観測しました。
十島村役場諏訪之瀬島出張所によると噴火活動に伴い集落(御岳の南南西約4km)で爆発音、体感空振、降灰がありました。
地震活動は、6月までは発生回数の少ない状態で経過しましたが、7月以降は多い状態が続き、特に8月には月回数が954回と多発しました。火山性微動も度々発生し、継続時間の長いものは数日間続きました。